

2023年度 新人看護師教育計画表

大阪みなと中央病院 所属 ( ) 氏名 ( )

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
新人看護師到達目標		到達目安 □病棟の構造が理解できる □先輩と共に行動し、一日の流れが理解できる	□先輩と共に日勤の担当患者の観察とケアが行える	□指導を受けながら日々の複数担当患者の観察・ケアができ報告できる □先輩と共に患者の就寝前までのケアが経験できる			□夜勤業務の流れが理解でき、先輩と共に開始できる		□先輩と共に重症患者の病態を理解しながら観察、必要なケアが行える	□指導を受けながら一人で夜勤業務ができる			□チームメンバーの役割を理解し、行動できる □次年度の目標を考えることができる	
新採用者看護実践到達	到達時期	3ヶ月後			6ヶ月後			12ヶ月後						
	看護職員として必要な基本姿勢と態度	★Ⅰ	(1)医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する(2)看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する(3)職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する(5)患者を一人一人として尊重し、受容的・共感的態度で接する(6)患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る(8)守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する(9)看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する(14)自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつめる			(4)患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する(13)同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとる								
		★Ⅱ	(10)病院及び看護部の理念を理解し行動する(11)病院及び看護部の組織と機能について理解する(15)課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する						(7)家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する(12)チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する(16)学習の成果を自らの看護実践に活用する					
	看護技術	★Ⅰ	(17)温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整(18)ベッドメイキング(20)食事介助(21)経管栄養法(22)自然排尿・排便援助(27)歩行介助・移動の介助・移送(28)体位変換(32)清拭(34)口腔ケア(36)部分浴・陰部ケア・おむつ交換(37)寝衣交換等の衣生活支援、整容(38)酸素吸入療法(39)吸引(口腔内、鼻腔内、気管内)(41)体温調整(45)褥瘡の予防(47)経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬(57)意識レベルの把握(64)バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈(65)身体計測(66)静脈血採血と検体の取り扱い(69)血糖値測定と検体の取り扱い(71)パルスオキシメーターによる測定(76)スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施(77)必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択(79)医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い(82)誤薬防止の手順に沿った与薬(83)患者誤認防止策の実施(84)転倒転落防止策の実施			(40)ネプライザーの実施(63)チームメンバーへの応援要請(78)無菌操作の実施(80)針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応								
		★Ⅱ	(53)抗菌薬、抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察(72)安楽な体位の保持						(30)入眠・睡眠への援助(31)体動、移動に注意が必要な患者への援助(58)気道確保(59)人工呼吸(60)閉鎖式心臓マッサージ(61)気管挿管の準備と介助					
	看護実践における管理的側面	★Ⅰ	(87)施設における医療安全管理体制について理解する(89)施設内の医療情報に関する規定を理解する(91)プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う(93)業務の基準・手順に沿って実施する(100)施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する			(88)インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う(90)患者等に対し、適切な情報提供を行う(95)業務上の報告・連絡・相談を適切に行う								
★Ⅱ		(101)規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う(102)看護用品・衛生材料の整備・点検を行う			(92)看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する(91)複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する(103)患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する			(99)定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する(104)費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する						
								(96)決められた業務を時間内に実施できるように調整する(97)薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬、麻薬、劇薬)(98)血液製剤を適切に請求・受領・保管する						
部署別教育	修得業務	□患者の情報収集ができる □PC入力ができる(除退・実施確認・看護必要度・身体抑制、認知症・せん妄)、転倒転落・褥瘡に対する診療計画書(ハイリスク・褥瘡発生報告書)・各種同意書・チェックリスト・薬剤アセスメント・入院時スクリーニングシート・嚥下障害リスク評価・評価シート		□白内障患者の看護 □大腸検査の患者の看護 □内科看護(肺炎、糖尿病) □血糖測定・インスリン □体圧測定 □カーゼ交換 □予定入院(バス患者)の受け入れ □予定退院(バス患者)の対応	□硝子体バス患者の看護 □透析患者の看護・シャント管理 □下肢静脈瘤・局麻患者の看護 □血糖負荷試験 □日内変動	□形成外科看護(全身麻酔) □予定入院(バス以外の患者)の受け入れ □予定退院(バス以外の患者)の対応	□受け持ち患者の看護計画立案・評価・修正・看護サマリー □バス以外の(消化器、循環器、呼吸器、内分泌)患者の看護 □緊急入院の受け入れ □退院支援 □化学療法 □ペナンバックス							
	担当業務	□日勤：先輩看護師とペアで見学・実施 □救急カート □AED点検 □金庫の点検 □常備薬の点検 □物品管理 □包交車チェック □検査説明	□日勤：先輩看護師とペアで4~5名を受け持つ □休日：日勤業務開始	□日勤：先輩看護師の支援を受けて患者4~7名を受け持つ □休日：退勤業務開始	□日勤：独り立ち患者4~7名を受け持つ □プリセプター(チーム)のフォローのもと受け持ち患者を開始	□夜勤オリエンテーション □1回目シャドー □2回目夜勤受け持ち患者1/3 □3回目夜勤受け持ち患者1/2	□夜勤：チームの患者全員を受け持つ							
	病棟内勉強会	□常備薬について □救急カートについて □検査説明の方法 □白内障 □大腸検査	□感染性肺炎 □緑内障 □硝子体 □下肢静脈瘤 □糖尿病(血糖測定・インスリン) □形成外科局麻麻酔 □予定入院の対応	□全身麻酔の対応(深部静脈血栓症) □慢性腎不全 □蜂窩織炎 □帯状疱疹 □転倒について □退院の対応	□眼瞼下垂 □重症下肢虚血 □除圧閉鎖療法	□心不全 □血管理	□熱傷(瘢痕拘縮) □COPD	□化学療法 □ウイルス □急性肺炎 □胆管炎 □肝性脳症 □腎盂腎炎 □血管肉腫 □ポーエン病						
	ミーティング	・17時からベアナースと日々の振り返り	・17時からベアナースと日々の振り返り	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し	・未経験項目の洗い出し
	私の目標													
看護部教育 集合研修	ニーズをとらえる力	看護過程												
	ケアする力	看護記録 目標：当院の看護記録の実際を理解する 記載基準に沿った看護記録を学ぶ												
	実践能力	看護必要度 目標：診療報酬における入院基本料の施設基準である看護必要度の考え方を理解する・看護必要度の評価方法・評価項目・定義・判断基準を理解する・看護必要度評価に必要な記録ができる												
	実践能力	基本的看護技術 目標：安全で実践的な看護技術を習得する ・静脈血採血と検体の取り扱い・皮下注射、筋肉内注射、食事介助、経管栄養法、口腔ケア、経口薬の与薬、輸液管理、留置針による点滴静脈注射・清拭、部分浴、排泄援助、環衣交換、体位変換、転倒転落防止策、歩行・移動介助、輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理、輸血の準備と観察・酸素吸入、吸引・褥瘡予防												
	実践能力	コミュニケーション 目標：患者、家族との信頼関係を築くために必要なコミュニケーションを学ぶ												
	実践能力	看護倫理 目標・医療倫理、看護倫理に基づき人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する。看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する。職業人としての自覚を持ち倫理に基づいて行動する												
	実践能力	リーダーシップ 目標：組織の理念・看護部・部署の目標が理解できる。チーム医療の一員としての役割を理解し行動できる(連絡・報告・相談ができる/事実を正しく報告できる)												
	実践能力	医療安全 目標：医療安全管理体制について理解できる。支援を受けながら基準手順を遵守し行動できる												
	実践能力	感染 目標：感染予防管理体制について理解できる。スタンダードプリコーションが遵守できる												
	実践能力	災害 目標：感染予防管理体制について理解できる。スタンダードプリコーションが遵守できる												
教育	実践能力	メンタルヘルス 目標：ストレスの対処法について知ることができる。メンタルヘルス、ハラスメントに関する相談窓口を知る												
	実践能力	リフレッシュ 目標：お互いに自己の振り返りを行い、今後の目標を具体的に明文化できる												
	実践能力	自己教育力(看護を語る会) 目標：目指す看護師像に向けて振り返り語ることで、課題を見出すことができる												
実践能力	研究能力 目標：ケーススタディを学び、取り組むことができる													
評価	新採用者看護実践到達評価	○新採用時評価	○看護実践到達表1ヶ月評価	○看護実践到達表3ヶ月評価	○看護実践到達表6ヶ月評価	○看護実践到達表12ヶ月評価	○キャリアラダー評価	○看護実践到達表最終確定						

ローテーション研修 病棟( / ~ / ) 外来( / ~ / ) 手術室( / ~ / )

修了式